

平成 29 年度 横浜国立大学校友会事業活動計画

1. 入学時（1 年次対象）の事業（新入生向け）

新入生の校友会への入会を促進し、入学直後の学生が大学生活にスムーズに溶け込み、有意義な大学生活を送るための支援を行うため、以下の事業を実施・支援する。

○まなび座

- ・キャリア教育支援の一環として、1 年生（前期）に社会人基礎力養成講座「まなび座プロジェクト」を開講。主体的に考え取り組む姿勢を育成。卒業生講師派遣で支援。
- ・市村光之准教授（高大接続・全学教育推進センター）が担当

○学事暦カレンダー（配布用）

- ・平成 30 年 4 月入学会費納入者と現会員向けの学事暦カレンダーを作成（おもに保護者向け）。

○入学案内パンフレット

- ・大学からの入学手続き案内に校友会案内パンフレットなど各同窓会案内と同封。
* 会費納入者には「会費納入礼状+会員証」送付（3/20 入金迄を目安に。あとは事務局手渡し）。

★新入留学生懇親横浜港クルーズ乗船会

- ・校友会・各同窓会合同企画イベントにおける校友会負担分（主に留学生の負担分）。
- ・5 月 24 日（水）・26 日（金）の 2 回実施。各回 100 名程度の乗船見込み。

○ノベルティー

- ・平成 30 年 4 月入学の新規会員用記念品作成経費。
（平成 29 年 4 月入学生には携帯バインダーを作成（H28 年度予算）。）

★校友会歓迎会

- ・6 月中旬 17 時頃から約 250 名の参加を見込んでいる。
- ・第一食堂（れんが館）で軽食およびソフトドリンクでの会を企画。

目的：校友会の認知度向上、新会員に年間活動を紹介し参加促進を図る。

例えば、校友会行事写真等の貼付。YAC などコンテスト説明コーナーや、学生生活全般の相談コーナー等を設けたり、音楽系のサークルの協力など得て、楽しい雰囲気、先輩学生会員や若手同窓生会員との交流で気軽に今後の交流のきっかけづくりの雰囲気を演出。

○その他

- ・入学式直後に保護者同席の場で、校友会会長から挨拶・校友会主旨説明。
- ・入学式の前日の各学部・EP ごとのオリエンテーションで、校友会の説明（同窓会案内と並行）。
- ・学部別で開催される保護者会（入学式午後を中心に開催）で校友会の説明同窓会案内と並行）。

2. 広報活動事業

校友会の活動を広く広報し、会員数の拡充を目指し、以下の事業を実施する。

○会報誌印刷費

- ・「横浜国立大学校友会会報誌」を発行し、校友会の活動や横浜国立大学の動向などについて情報提供を行う。また、活躍している卒業生や在校生の紹介をとおして、会員相互の絆を深める。

○会報誌通信・運搬費（会員加入促進活動）

- ・校友会報誌送付（8月末に今年度事業途中報告と今年度事業計画を保護者に報告）。

○学内・学外広報費

- ・YNUのブランドアップを目指し、同窓生や現役学生・教員の活躍等を紹介するチラシ等を作成する。

○ホームページ更新作業費

- ・随時情報発信を行い、校友会の認知、関心を高めていく。

★Facebook ページ運営経費

- ・ページ用有料素材費等。

★校友会業務用情報基盤

- ・G Suite Basic 15 ライセンス（12ヶ月分）およびドメイン維持費。

3. 全学生対象の事業

全学生を対象に、キャリア教育支援や大学生活を彩る様々なイベントを支援し、校友会の存在意義や同窓生とのネットワーク構築の大切さを実感して貰うため、以下の事業を実施・支援する。

★校友会による地域実践教育支援プロジェクト

- ・ゼミやサークル等で行っている地域実践活動について支援する（公募事業）。

★学生による実践型教育イベント（コンテスト）支援

- ・学生が考える実践型教育を募集し、優秀な取り組みに賞金を授与する。

○講演会 外部講師招へい講演会

- ・5学部が校友会と共催して講演会を実施

平成28年度同様に学部と共催の講演会実施

教育学部、経済学部、経営学部、理工学部、都市科学部

テーマ、講師は学部が主体で検討

- ・全部局を対象とした講演会についても実施を模索する。

★横国 PR 動画 Project

- ・YNU キャンパスの四季の風や校友会行事、サークル活動の動画を編集しPR動画を作成し、校友会入会促進、新入生幹事勧誘、海外同窓会などにも提供する。

★企画募集 Project

- ・公募型企画で、学生が実施したいと考えているが、資金が足りず実施出来ないような企画を募集し、優秀な企画を支援する。

★異文化交流

- ・学内における留学生と日本人学生との交流の場を企画する。

★新入生学生幹事勧誘

- ・新入生から学生幹事を勧誘するための経費（ポスターの作成等）

○グローバル化と日本人（異文化中心）

- ・キャリア教育支援の一環として、2年生以上を対象に実施（2単位）。講師謝金を支援。
- ・主担当：市村光之准教授（高大接続・全学教育推進センター）

○グローバルビジネス実践講座（ビジネス中心）

- ・キャリア教育支援の一環として、2年生以上を対象に実施（2単位）。講師謝金を支援。
- ・各種業種の海外勤務者からの体験談をベースに、国の制度や国民性等も含めて実践的な知識を提供。一部、英語での授業も取り入れる。
- ・主担当：大雄智教授（経営学部）（全学部に開放）、コーディネータは関仁非常勤講師が担当

○インターナショナルウィーク支援

- ・H28年度は「留学モチベーションアップイベント」として実施していた事業。本学の学生に海外留学に興味を持ってもらい、派遣者数を増やすための取り組み。国際戦略推進機構が中心になって開催する留学体験者や本学に交換留学してきている学生からの体験談等、様々なイベントを企画している。

○アプリコンテスト

- ・校友会と情報基盤センターが共催で実施。
- ・アプリの公募を行い、応募の中から開発部門賞、企画部門賞、開発部門情報基盤センター長賞、企画部門情報基盤センター長賞、スポンサー賞等を授与する。
- ・コンテストの賞金、コンテスト会場費、審査委員への謝金、運営費等を支援。

○部活コンテスト

- ・H28年度に企画して好評を得た企画。今年度の企画内容については今後検討。

★部活・サークル交流会（仮称）

- ・H28年度は学長主催で運動部壮行会を開催。今年度は文化系サークル等も含めて交流を行いたいとの事で、学長から校友会に対し支援の要請があった。

○朝食サービス（7月・2月予定）

- ・H28年度は予備費から支出。
- ・大学が企画する朝食サービス事業の際、会員には100円割引券を日数分配布。

○就職支援活動

- ・各同窓会と合同で行う模擬面接会に対する支援。

4. 全会員対象の事業

YNU同窓生・在学生の横断的活動を支援し、オールYNUとしての一体感を増していくことをめざし、以下の事業を実施・支援する。

○ホームカミングデー事業

- ・H29年度は、大学主催で実施し、校友会・同窓会は共催で開催。校友会では事業経費も支援。（名称変更予定、日程：10/14（土））

○学生・OB／OGの交流会

- ・年2回の開催を予定。
- ・在学生（留学生を含む）に対し、卒業して間もない先輩から、学生生活や就職活動、卒業後の活動等、生きた声を聞ける機会を提供。

○地域・職域校友会

- ・地方で開催される同窓会等に校友会から参加する際の旅費等。

○海外同窓会

- ・海外で開催される同窓会に校友会からも参加したり、運営費の支援等を行う。

★IT産業交流会

- 開催の機運が高まっているIT産業界において開催を予定。年2回程度、交流だけでなく講演会等勉強会を兼ねて開催。

5. 固定費

校友会活動の運営のために必要な経費

○事業付随費 事務局諸経費

- ・会費振込票印刷経費、会費等振込手数料、会議費、通信費、消耗品費、職員交通費等

○会員加入促進費

- ・新入生会費未納者への再アプローチ（同上会報誌・振込用紙同封）。

○会員管理費 会員管理システムランニング費用

- ・会員システム登録・管理、校友会費納入者、新入生の登録等
- ・Webサイトにおける寄附金納入サービスシステム。

6. 予備費

以上